

安全安心を支援します

～大規模地震に備えて～



安全安心課 ☎66♦1156

「明日起つても不思議ではない」といわれている東海地震。本当に明日、この地震がおこったら・・・あなたのお家はだいじょうぶですか。あなたの周りに倒れてくるようなものはないですか。あなたの住まいがなくなったら、どうしますか。当座の生活は・・・そんな皆さんの不安を少しでも解消し、毎日を平穩に笑顔で過ごすことができるようなまちづくりを進めていこうと、蒲郡市は、市政推進の基本理念として「安心のまち蒲郡」を掲げています。そして、市民の皆さんと一緒に、災害に強いまちづくりをしていきたいと思っています。

そこで今号では、地震発生前の備えや実際に起こったらどうするのかなどを中心に、市で行っている災害対策事業を紹介します。

安全安心課の創設

蒲郡市は、東海地震が起こった際に、大きな災害になることが予想される地域に指定されています。

このような地震などの災害は、みなさんに不安と恐怖を与えるものです。そこで、皆さんが、安全で安心して暮らせるように支援する窓口として、今年4月に安全安心課ができました。

安全安心課では、防災のほか交通安全や防犯に関するところを行っています。災害に関することや交通・防犯に関することは、遠慮なく安全安心課へお問い合わせください。

災害に備えて

私たちは、阪神・淡路大震災、北海道南西沖地震（奥尻島）、宮城県沖地震などの災害を目の当たりにしてきました。そして、これらの災害から「災害に対する心構え」「自分の身や家族の安全は自分で守る」「ボランティアの重要性」など、いろいろなことを学びました。

私たちは、被災された方たち

のためにも、これらの教訓を生かし、東海地震などの災害の被害を少なくすることが大切です。まずは、災害前や災害時自分が何をすべきかを把握し「自分の身は自分で守る」という心構えを持ちましょう。

○避難のための準備

災害時にあわてないよう、まず、避難場所の確認や家族間の連絡方法、幼児や老人の避難支援、誰が何を持ち出すかなど、災害時の家族の役割を決めておきましょう。また、支援なしでも3日間は生活できるように、食料品・飲み水や毛布などを備蓄しておきましょう。

東海地震の前ぶれと見られる異常現象が発見されたときは、警戒宣言が発令されます。警戒宣言が発令されてからの行動も、家族で話し合っておきましょう。

家族の役割を決めておきましょう!

